



情報通信工学 人間情報システム 視知覚、空間知覚、錯覚、眼球運動

情報通信系 助教 久方瑠美

過去の研究実績	現在、注力している研究	今後取り組んでいきたい研究
<ol style="list-style-type: none">1. 静止画が動いてみえる錯覚現象を用いた運動視知覚のメカニズムの解明2. 物体位置知覚と運動視機能・眼球運動補正メカニズムの関係性の検討3. 視覚情報処理における物体間の距離推定に関わる新たな現象の発見	<ol style="list-style-type: none">1. 運動検出における、自己運動情報と両眼立体視機能の影響の検討2. 視覚的な物体間距離推定の計算モデルおよび神経基盤の解明3. 錯視研究から明らかになる未知の視覚機能の探求 <p style="text-align: center;">研究手法・装置</p> <p>人を対象とする行動実験（心理物理学的手法）を用いた検討</p> <div data-bbox="1156 915 1607 1258"></div> <div data-bbox="1625 953 1857 1258"></div>	<ol style="list-style-type: none">1. 人間の基本的な空間認知システムの解明2. 空間知覚に対応する、脳機能の解明および神経メカニズムの推定 <p>近年、急速な技術革新によりAIやロボット、VR/AR環境が身近なものになりつつありますが、それを利用する人間の知覚認知特性との親和性は未だに検討されるべき問題です。受け手側の人間がどのような特性をもつのか多様なアプローチを用いて検討します。</p>

③ <https://rumihisakata.wordpress.com>, hisakata.r.aa@mech.titech.ac.jp